

2004年6月15日

東京外国為替市場委員会 第73回会合 議事録

開催日時	2004年4月14日 13:00～14:30
場 所	日本銀行本店 新館9階中会議室
議 長	荻野 哲司
副 議 長	加島 章雄
副 議 長	梨本 忠彦
書 記	川添 敬
委 員	15名 (別紙)

I. 委員選任および退任の件

荻野議長より、①野手委員、今井委員から辞意が表明されたこと、②これに伴い委員の公募を行ったところ、下記の方々から立候補届があったことが報告されました。

丸山 剛 (UFJ銀行)

水越 将之 (JP モルガン・チェース銀行)

上記立候補者について、提出書類に基づく審査、立候補者の所信表明を経て、委員による投票が行われ、全会一致で承認されました。

野手委員の辞任に伴い空席となった運営小委員長には、武田委員が立候補し、全会一致で承認されました (武田委員は法律問題小委員長を兼務)。

II. 小委員会活動報告

1. 運営小委員会

荻野議長より、以下の提案があり、承認されました。

- 1) 本委員会の人数については、綱要において15名程度と定められていることを踏まえつつ、過去の実績では最大19名であることを考慮して運営する。
- 2) 前回本委員会において退任された中島委員に代わり、花生委員が決済小委員会を脱退し、本小委員会に参加する。
- 3) 最近の委員の退任、選任に伴い、委員の各小委員会への所属を見直す。

2. NDF小委員会

稲村小委員長より、ニューヨーク市場委員会、シンガポール市場委員会とのコンファレ

ンスコールにおいて、以下の項目に関して議論が行われたことが報告されました。

- 1) LATAM User Guide を参考に、取引の方法等を明文化することを目的とした、Asian NDF User Guide の作成。
- 2) Valuation Day の定義方法、及び Valuation Day を決定する上でのリファレンスシティの設定方法。
- 3) アジア通貨を対象とした NDF 取引における契約書類の雛型作成。
- 4) Fallback やコンファメーションの仕組みに対する市場参加者の合意を形成する方法。

3. 市場調査小委員会

加島小委員長より、EBS 社” Prime Broker” の導入に際して作成する「派生的な電子取引スキームに関する諸考察」（「諸考察」）について、以下のとおり提案があり、承認されました。

- ・海外の主な市場委員会に対して送付するとともに、先方の見解を質問する。
- ・その際に用いる英文版、及び質問状については、本小委員会に一任する。
- ・EBS 社による” Prime Broker” のリリースを受けて、本委員会ホームページに「諸考察」を掲載し、検討結果を市場関係者に広く報知する。

4. 決済小委員会

市川小委員長より、CLS 銀行による為替取引コンファメーション（MT300）廃止に関して、①個々の取引コンファメーション時、②CLS 決済トラブル発生時、③コンファメーション廃止のシステム対応遅延時、のそれぞれの場合における留意点について、小委員会で議論が行われたことが報告されました。

(別紙)

東京外国為替市場委員会委員名簿 (4月14日現在)

<委員>

議長	○荻野 哲司	(東京三菱銀行)
副議長・市場調査小委員長	○加島 章雄	(みずほコーポレート銀行)
副議長	梨本 忠彦	(パークレイズ銀行)
書記	○川添 敬	(日本銀行)
運営・法律問題小委員長	○武田 敬一郎	(三菱信託銀行)
広報小委員長	○大木 一寛	(EBS デイリングリソースジャパン)
教育小委員長	○河野 文彦	(野村証券)
決済小委員長	○市川 亨	(みずほ銀行)
NDF 小委員長	○稲村 秀彦	(シティバンク)
Code of Conduct 小委員長	○柳澤 義治	(ステート・ストリート銀行)
E コマース小委員長	○花生 浩介	(ロイヤルバンクオブスコットランド)
	○竹川 雅祥	(メリルリンチ日本証券)
	○伊藤 一雄	(トウキョウウォルックス上田ハロー)
	○川手 康弘	(ロイタージャパン)
	○丸山 剛	(UFJ 銀行)
	○水越 将之	(JP モルガン・チェース銀行)

<オブザーバー>

○野口 嘉彦	(マネー・ブローカーズ・アソシエーション)
○井上 哲也	(日本銀行)
○寺澤 英光	(東京三菱銀行)
○竹中 浩一	(みずほコーポレート銀行)

(注) 敬称略(順不同)。○は今回出席。